

塁審注意事項 10項目

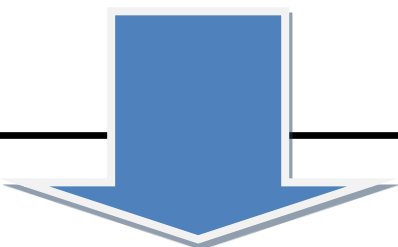
調布市少年野球連盟審判部

- ① 試合開始15分前集合。チームのユニフォーム着用の上、インジケーターと刷毛を準備。整列と配置は駆け足。携帯電話・腕時計は絶対に持ち込まない。攻守交代のときに、ピッチャープレートを刷毛で掃く(プレート上の試合球には触れない)。守備側ベンチの選手追い出し(特にキャッチャー)。投球練習が終わるまでの待機は、塁審全員手を後ろに組み、フィールド内で、かつ選手から離れた位置で待つ(選手・観客と言葉を交わさない)。給水は偶数回終了後、ベンチへ取りに行く。
- ② 一・三塁審は、走者がいないときはホームに向かってスタンディングで構える。走者が出たときは投手に正対し、投手がプレートに付いたら、セットポジション(ひざを軽く曲げ、両手を膝の上、頭を上げて見る)の姿勢をとる。
- ③ 「アウト!」「セーフ!」「ファウルボール!」「キャッチ!」「ノーキャッチ!」は必ず大きな声でジェスチャーとともに行う。フェアはノーボイス。
- ④ 「アウト!」はゆっくり判定。「セーフ!」はやや早めに。必ず止まって判定・コール。
- ⑤ フォースプレイは距離を取り、送球のラインと直角になる位置で見ると。
- ⑥ タッグプレイは、タイミングで見ない。走者の足がベースに着くのと、守備側のタッグのどちらが早いのか、じっくり見極めてコール。
- ⑦ インフィールドフライの場面では、球審が手を胸に当てるサインに同調する。そして、球審がコールしたら一緒に飛球に対して、人さし指を指す。
- ⑧ フェアの内野フライの判定は、すべて球審がコール。ファウルフライ(塁審のほうが近い場合)・外野フライは塁審がコール。フェア・ファールの判定は、塁審から見て、ベースを含まない面から本塁方向は球審、ベースを含む外野方向は塁審の判定。球審と判定がダブらないよう注意!
- ⑨ 無走者の場合、二塁塁審が打球を追ったら、すぐに三塁塁審が二塁をカバー、一塁塁審は本塁をカバー(クロックワイズ)。
- ⑩ スコアリングポジション(球審は本塁ステイ)では、三塁塁審が打球を追ったら、二塁塁審が三塁をカバー、一塁塁審が二塁をカバー(グラウンド内に切れ込む)。一塁塁審が打球を追ったら、二塁塁審が一塁をカバー(カウンタークロックワイズ)。

塁審が打球を追う4つのトラブルボール



- ① 外野を抜けた打球
- ② ライン際の打球
- ③ 外野手手前に落ちる打球
- ④ 複数の守備が集まる打球



キャッチかノーキャッチか
フェアかファールか

塁審の大きな使命は走者の判定と打球の判定です！！
～選手のために審判もがんばりましょう～